

令和8年度学校評価一覧(前期)

学校名(大館市立山瀬小学校)

学校の重点	◇夢を育てるふるさとキャリア教育の充実	挑む！－自分とみんなの幸せをつかむために－ ～たけのこの里でぐんぐん伸びる 一人一人が成長点～	評価区分(達成度) きわめて良好(100%以上) 良好(80%以上達成) おおむね良好(60%以上) やや不十分(60%未満) 努力を要する(40%未満)
	◇夢の実現に向かう確かな学力の向上		
	◇夢を支える豊かな心の育成		
	◇夢を支えるたくましい体の育成		

大館市立山瀬小学校 人間力の基礎とキャリア教育(未来・大館市民実践力の育成)	評価項目		自己評価A	運営協議会評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I 自主的・自立的な生活	規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	1 基本的生活習慣の確立	(1) 相手や場に応じて元気なあいさつや返事、落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごとの「あいさつ運動」、小中連携「あいさつ運動」の実施 ・運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けての自立プラン～」の実施	3
					2 夢に向かって努力する資質能力の育成	(2) つながりを強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(職員室前に全校児童の夢の掲示、各学級に一人一人の目標掲示) ・「たけのこプロジェクト」(たけのこ皮集め・農園動、ふるさとを歩こうデー等)による目標に向かって力を育む取組	4
	II 思いやりの心たくましい心	自他を大切にし、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	おおむね良好	おおむね良好	3 思いやりの心の育成	(3) 自他を大切にし、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施・道徳科の充実・授業での振り返りの実施・互いを認め合う学級づくり・帰りの会での「今日の○○さん」の紹介	3
						(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・「花丸ニュース」・縦割り活動・異学年(学団)交流 ・運動会遊競技・体力テスト・水泳授業 ・比内支援学校との居住地校交流(4年)	4
						(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読秋田県一周)・屋読書の工夫(図書室の活用)・読み聞かせ活動の充実・必読図書の推進	4
	III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	良好	良好	4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・運動会や歩こうデーに向けた昼休みのマラソンタイム ・体力テストに向けた取組と実施 ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4
						(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動(食育掲示、べろりんピック、かみかみチャレンジ、昼の放送等)・歯磨き教室・指導・手洗いの励行・健康花丸チェック	4
	IV 基礎学力	意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	5 確かな学力の育成	(8) 基本的学習習慣の徹底	・学習態度や話型の指導・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化(手引きの活用、自学紹介コーナー、自学花丸デー、ノート展、自学を見合う会)	4
						(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的、計画的な繰り返し指導(ドリル学習、百マス計算、新聞ワークシート、ミニテスト等)・個に応じた指導の工夫(TT指導等)・聞き方、話し方の強調月間の設定	3
						(10) 共感的・協働的に学び合う学習指導の充実	・やませっ子学びのスタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのこっ子タイム)の設定と充実	4
	V 安全・安心	児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	良好	良好	6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団下校指導、交通安全教室、避難訓練(地震)の実施 ・生徒指導部だより「すこやか通信」の発行・地区児童会(危険箇所確認等)	4
						(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携 ・危険箇所確認及び看板設置、街頭指導、totoru配信	4
	VI 保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	おおむね良好	おおむね良好	7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各たより(学校報、学年だより、保健だより等)の発行、HP・ブログの更新 ・行事等におけるメール配信	3
						(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施(農園活動、田植え、なめこ栽培、たけのこ皮集め、藤の郷見学、ふるさとを歩こうデー、クラブ活動、ブルタブ・アルミ缶回収等)	4

令和8年度 大館市立山瀬小学校 学校評価書(前期)・ 年度)

A 学校教育目標

ふるさとに学び、未来を拓く児童の育成 ～夢をもち、やさしく、まじめに、せいっぱいがんばる子～

B 本年度の重点

挑む！
—自分とみんなの幸せをつかむために—
～たけのこの里で ぐんぐん伸びる
一人一人が成長点～



C 学校経営の特徴

学校経営の基本方針

- 子どもたちがふるさとのよさを知り、ふるさとを大切に思いながら、高い志を抱く学校づくり
- 一人一人の子どもが、一歩前へ踏み出し、積極的に学習や活動を行う学校づくり
- 教職員個々が使命感をもって実践と研修を重ね、子どもの人権を尊重し、学力や様々な可能性を伸ばす学校づくり
- 全校児童・全教職員が心をひとつにし、力を合わせ、家庭や地域と連携・協働できる学校づくり

目指す児童像

夢をもち ・夢や目標に向かって粘り強く努力する児童
やさしく ・自他を大切にし、思いやりの心をもった児童
まじめにせいっぱい
・自分の役割を果たし、基礎・基本となる学力を身に付けた児童

目指す学校像

- ・一人一人が認められ、「心の居場所」がある学校
- ・明るく、活気に満ちた学校
- ・児童が生き生きと楽しく学べる学校
- ・地域と連携、協働し、地域に開かれた学校

目指す教師像

- ・子ども一人一人に寄り添い、温かく支える教師
- ・生徒指導の機能(自己存在感、共感的な人間関係、自己決定の場、安全・安心な風土)を生かし、子どもが自ら成長する過程を支える教師
- ・自己の経験や前例にとらわれず学び続ける教師
- ・家庭、地域と協力し合い、信頼される教師
- ・ICTや情報・教育のデータを利活用できる教師

経営の重点事項と具体的な取組

1 ふるさとキャリア教育の充実	2 確かな学力の向上	3 豊かな心の醸成	4 たくましい体の育成
・地域の「ひと・こと・もの」を活用した多様な体験活動の推進 (たけのこプロジェクト～栽培活動・たけのこ和紙作り・ふるさとを歩こうデー等～) ・地域の特色や伝統文化等を学ぶ探究活動の展開	・学習習慣と基礎的、基本的な学力の定着 ・主体的に学び高め合う学習指導(やませっ子学びのスタイル)、「つながる場」「たしかめる場」「シンカする場」の充実 ・自分の考えを根拠をもとに話せる児童の育成	・相手や場に応じた元気なあいさつや返事と整理整頓、時間を守る等の基本的生活習慣の定着 ・議論することを通して、道徳性を育む道徳科の充実 ・思いやりの心や豊かな心を育む特別活動、読書活動の推進	・体力テストの結果を生かした効果的な体力づくりの推進 ・運動の楽しさを味わい、基本的な知識や技能を身に付ける体育学習の充実 ・望ましい生活習慣を確立する食育、保健教育の推進

学習規律の徹底と生徒指導の機能を高めた学級経営が基盤

学校間・家庭・地域との連携



ア 児童の 状況	学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
		良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
		おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
		やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
		努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自立的な生活

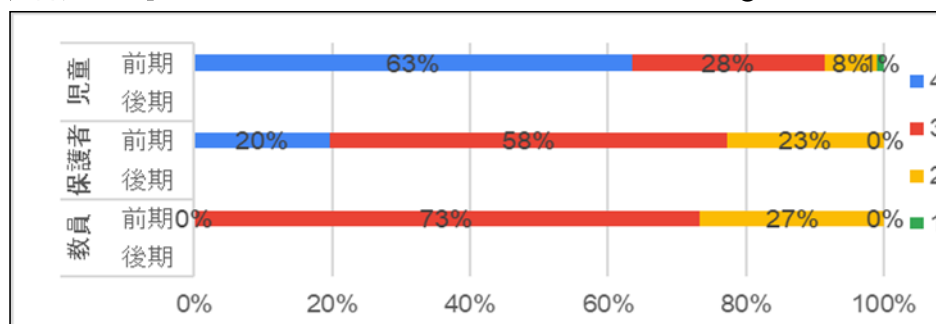
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	前期	おおむね良好	相手や場に応じたあいさつは、昨年度の保護者からの声をもとに、元気なあいさつから一段レベルを上げているのだと考える。田代中との合同あいさつ運動を生かしながら、どんなあいさつを子どもに求めているのか一緒に考えていってはどうか。
	年度		

学校評価の概要と学校の改善策	【前期(一年度)】 (1)について あいさつについては、昨年度まで「元気なあいさつができる」だったが、今年度から「相手や場に応じて元気なあいさつや返事ができる」に変更している。地域やスポーツ少年団等様々な場面において、多様な人々との関わり合いの第一歩であるあいさつが大切だと考えているからである。児童の肯定的回答は91%あるが、保護者や教員は73～78%となっている。校内生活の特定の相手や集団で活動している時は元気よくあいさつしているが、一人一人や地域でのあいさつとなるともう一歩という現状がある。2学期も引き続き、あいさつの意義を再確認し、来校者や校外で出会った方々へ進んでできるよう呼び掛けていく。「落ち着いた校内生活」については、児童の肯定的回答は94%に対して、保護者が81%、教員は60%となっている。安全な廊下歩行について、運営委員会が呼び掛けており、廊下歩行強調週間も行っている。運営委員会の活動を一過性のものではなく、子どもたちのアイディアを生かしながら継続して取り組んでいくことが大切である。教員もルールの重要性や安心・安全な生活について、機会を捉えて指導していく。
	(2)について 本年度の重点目標である「挑む！～自分とみんなの幸せをつかむために～」を目指し、日々の学習や学校行事、ふるさとキャリア教育において、児童が自らの目標を意識し、事後は成長を振り返る時間を大切にしている。今後も一人一人の成長を見守り、児童の夢や目標に向かう力を育てていきたい。
	【年度(一次年度)】

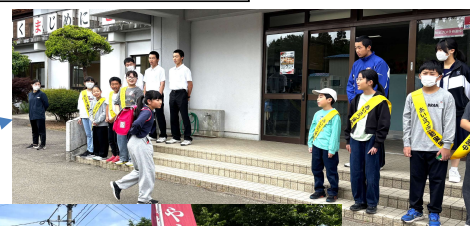
	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 基本的生活習慣の確立	(1) 相手や場に応じて元気なあいさつや返事、落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごと、小中連携の各「挨拶運動」、挨拶名人の選出 ・運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けた自立プラン～」の実施	3	
2 夢に向かって努力する資質・能力の育成	(2) つなぐを強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(全校児童の夢や目標の掲示) ・「たけのこプロジェクト」(たけのこ皮集め、農園活動、ふるさとを歩こうデー等)による目標に向かう力を育む取組	4	

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童（アンケート：4段階評価 4が最もよい） ★実践事項

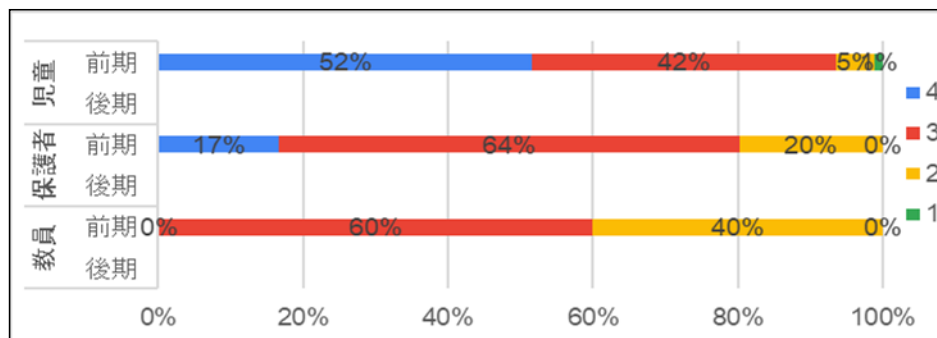
[(1)に関するデータ] ■□「子どもたちは、相手や場に応じて元気な挨拶や返事ができる。」 ◎「あなたは、学校や地域で元気な挨拶ができましたか。」



- 児童会によるあいさつ運動の実施
 - ・児童会と学年ごとのあいさつ運動 5月、9月
 - ・児童会による各学年のあいさつ名人の紹介
 - ・全校集会での運営委員会による「爽やかなあいさつ」の呼び掛け
- 田代地区小中連携あいさつ運動 6月
 - ・中学生と一緒にのあいさつ運動
 - ・(次代を担う田代の子「笑顔であいさつ」)
- ふるさとを歩こうデーPR活動における、地域の方へのあいさつ
- 運営委員会による廊下歩行強調週間の実施→安全で落ち着いた校内生活へ
- 職員全体で児童へのあいさつ、廊下歩行等の言葉かけ



■□ 子どもたちは、ルールを守り落ち着いた生活をしている。 ◎ あなたは学校でルールや約束を守り、落ち着いて過ごしましたか。

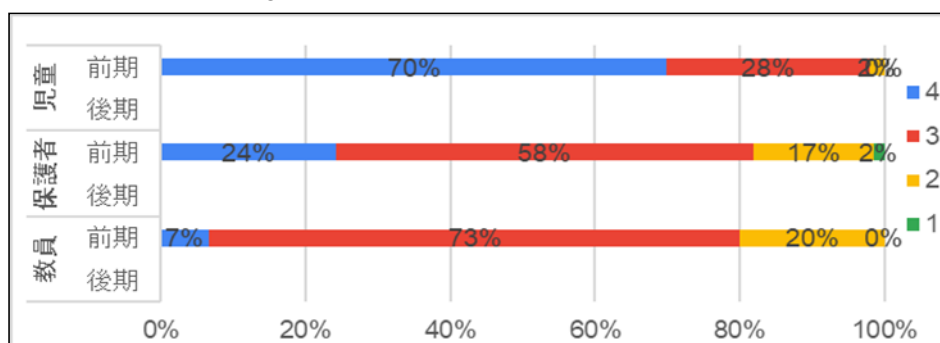


肯定的回答

児童	94	%
保護者	81	%
教員	60	%

[(2)に関するデータ]

■□ 学校は、夢や目標に向かって努力する機会が充実させ、目標に向かう力を育む取組をしている。」
◎ 「あなたは、夢や目標をもって、友達と力を合わせて毎日の生活をがんばることができましたか。」



肯定的回答

児童	98	%
保護者	82	%
教員	80	%

① 夢に向かう力を育む取組(ふるさとキャリア教育)

○職員室前廊下の夢カードの掲示と各学級に一人一人の目標掲示

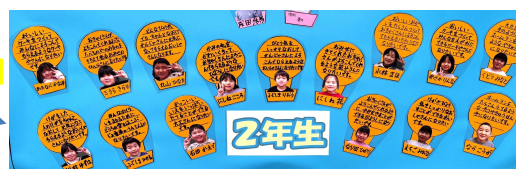
○行事や委員会・係活動等と関連させた取組

・毎月の月目標設定(学団ごと)

・目標に向かって努力する取組と振り返り～例:係活動、運動会、農園栽培活動、ふるさとを歩こうデー

○「たけのこプロジェクト」の推進 ※市教委「ステップアップ事業」に採択

・和紙作り用にたけのこの皮集め、皮の選別作業、農園栽培活動、ふるさとを歩こうデー・PR活動等、地域の教育力を活用した体験活動



エコフェアでの「たけのこ和紙ブース」



ア 児童の状況

Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
自他を大切にし、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期 おおむね 良好	前期 おおむね 良好	いじめアンケートや児童を語る会を通して、児童一人一人を丁寧に見取り、情報を共有しチームで対応していることがわかる。今後も親に寄り添った支援を継続してほしい。SNSを通したやりとりが多くなっている時代に、大人は子ども同士のつながりをどのように見ていけばよいのか考えたい。また、「読み聞かせ」や「うち読」「屋読書」を継続的に行うことで、児童の読書に対する関心を高まっていることが、ヒアリングからも分かった。

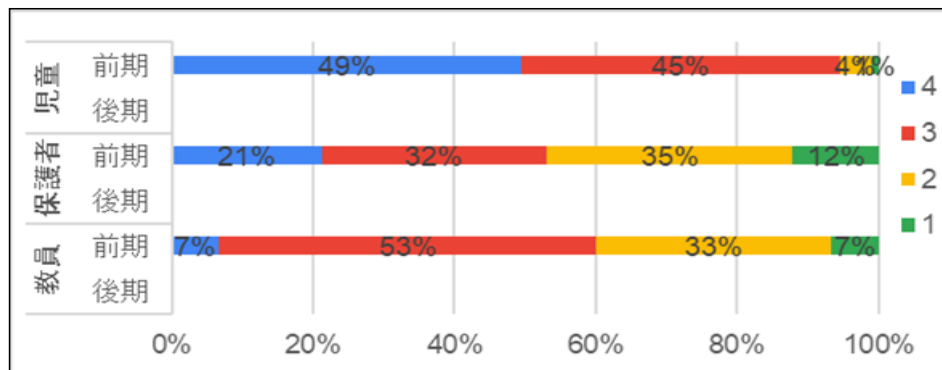
学校評価の概要と学校の改善策	【前期(一年度)】 (3)について 児童は9割超だが、保護者と教員は約6割となっている。日々の児童の観察と情報共有を丁寧に行い、生徒指導的な対応が必要な場合は、学級担任だけでなくチームで対応するよう努めている。道徳の学習の充実とともに、日常的教育活動の中で児童の発達を支援する生徒指導を大事にしていきたい。 (4)について 様々な場面で異学年(学団)による活動を意図的に取り入れ、上学年へのあこがれや下学年への思いやりを育みながら、多様な仲間との関わりの中で協力し合ったり助け合ったりすることができるようにしている。放送での花丸ニュースの紹介では、1年生も積極的に投稿している。 (5)について 読書については、秋田県一周カードの活用や新聞クイズなど、図書委員を主体的に活動させた取組、たしろドリームライブラリーの皆さんによる読み聞かせを行い、本に親しむ環境を整備している。2学期からも読書集会など、子どもたちの言葉に対する意識を高める活動を充実させていきたい。 【年度(→次年度)】
----------------	---

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3 思いやりの心の育成	(3) 自他を大切にし、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施 ・道徳科の充実・互いを認め合う学級づくり	3	
	(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・花丸ニュース・縦割り活動・異学年(学団)交流、運動会遊競技、体力テスト、水泳授業	4	
	(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読)・必読図書の選定・屋読書の工夫・読み聞かせ活動の充実	4	

〔各種データ〕 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

〔(3)に関するデータ〕

- □ 「子どもたちに、自他を大切にする温かな思いやりの心が育っている。」
◎ 「あなたは、相手の立場にたって気持ちのよいやさしい言葉づかいができましたか。」



肯定的回答	児童	94	%
	保護者	53	%
	教員	60	%

①児童観察と教育相談

- ・いじめアンケート後の全員との個人面談
- ・長期休業中の全保護者との個人面談

②児童を語る会・校内支援委員会

- ・児童の様子を把握し、適切な指導ができる校内体制と関係機関との連携

③いじめ不登校対策推進委員会

④道徳科の充実

- ・物事を多面的、多角的に考えられる指導方法の工夫、道徳コーナーの設置

⑤互いに認め合う学級づくり

- ・授業での「振り返り」の発表後の認め合い
- ・善行を認め合う、帰りの会での「今日の○○さん」の紹介

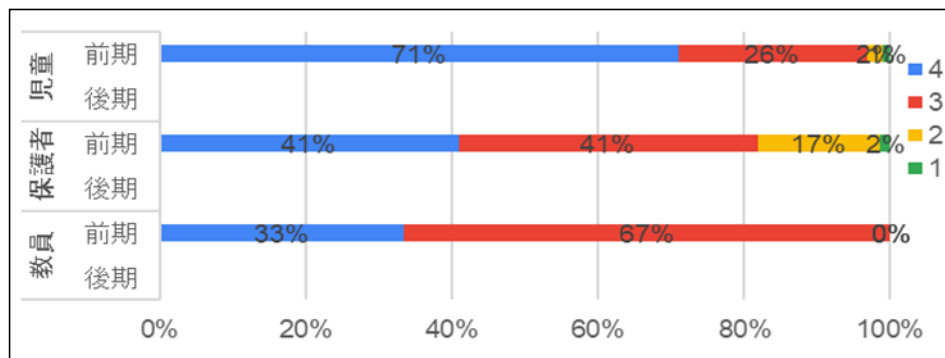
⑥児童会いじめの運動

- ・いじめ、いじわるをしない標語の募集

[(4)に関するデータ]

■ □ 「思いやりの心を育てる特別活動を推進している。」

◎ 「あなたは友達と協力しながら係・委員会・当番活動や縦割り班活動に取り組むことができましたか。」



肯定的回答

児童	97	%
保護者	82	%
教員	100	%

①思いやりと奉仕の心を育てる取組の具体例

- 花丸ニュース ○縦割り班清掃活動 ○小中合同ボランティア
- ペットボトルキャップ、アルミ缶、ごでんの回収
- ふるさとを歩こうデー ○大館市子どもサミットへの参加
- 異学年(学団)交流 ・運動会遊競技 ・体力テスト ・水泳授業



田代中学校区のスローガン

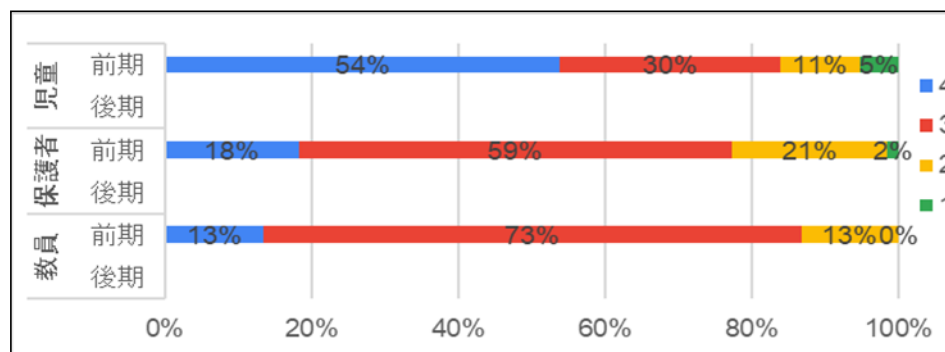
田代中学校区

笑顔のループ・田代の輪

[(5)に関するデータ]

■ □ 「子どもたちは、本に親しんでいる。」

◎ 「あなたは、進んで読書をすることができましたか。」



肯定的回答

児童	84	%
保護者	77	%
教員	86	%

①読書の奨励

・家庭と連携した読書活動の充実・必読書の選定・昼読書の工夫(図書室の活用等)

・読み聞かせ活動の充実(図書委員会・たしろドリームライブラリー)



ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期 良好	良好	令和7年度の新体力テストの結果を見ると、現小6が若干県を下回っているものの、令和6年度よりだいぶ引き上がっていることがよかった。スポーツ少年団等の運動習慣が少ない児童が多いことも理由の1つであると思われる。運動会やふるさとを歩こうデーの様子から、積極的に運動に取り組んでいることが分かる。養護教諭や栄養教諭の丁寧な指導と、田代地区全体で行っている取り組みがすばらしい。
	年度		

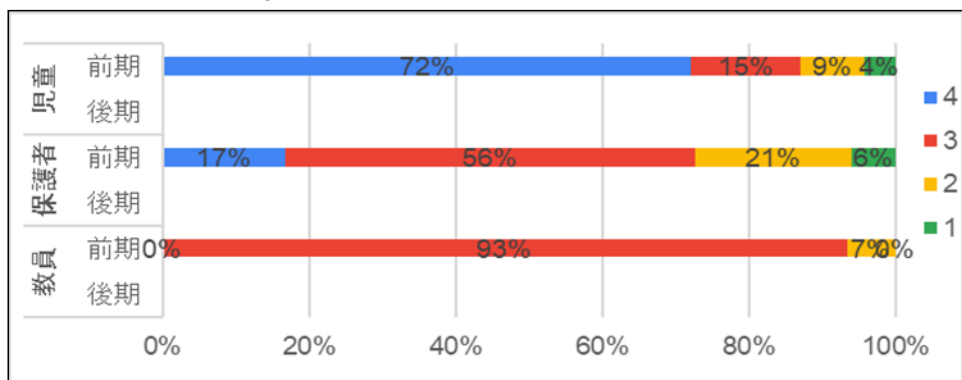
善学策校評価の概要と学校の改	【前期(一年度)】 (6)について 運動会やふるさとを歩こうデーに向けて、マラソンタイムを実施した。運動会の持久走では、子どもたちは保護者や色別の応援、田代中生の心温まる伴走を受けて一生懸命走りきることができた。また、体育委員会で学年対抗遊びを企画したり、外遊びと遊具の利用を奨励したりして、日常の運動する機会を増やすことができた。 (7)について 全学年において養護教諭による歯磨き教室・指導を実施し、歯の健康や歯磨きの仕方について理解を深めることができた。関心の高い保護者の声を保健だよりで紹介している。また、保健委員による「健康花丸チェック」も実施した。べろりんピックやかみかみチャレンジなどの取組、昼の放送や食育掲示板を通して食の大切さや食習慣等について啓発することができた。2学期は、栄養教諭と連携した食育授業や、田代中と協働したメディアコントロール力を高める取組を工夫していきたい。 【年度(一次年度)】
----------------	---

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・運動会や歩こうデーに向けた昼休みのマラソンタイム ・新体力テストに向けた取組と実施 ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4	
	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動・歯磨き教室 ・手洗いの励行・健康花丸チェック	4	

【各種データ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【(6)に関するデータ】

- 「体力づくりや体育学習を充実させ、体力の向上に努めている」
□「子どもたちは、進んで体を動かしたり、運動に親しんだりしている」
◎「あなたは、体育の時間や休み時間に(マラソンなど)進んで運動しましたか。」



① 体力づくりの取組

○マラソン運動～運動会練習時の業間や昼休みに実施

- ・カードの活用と掲示により、めあてをもたせ意欲を高めている。
- ・強調月間の設定
- ・体力テストに向けた体力向上を図る体育学習
- ・体育委員会による縦割り班遊びの実施



② 新体力テスト

○実施日 ・5月中旬～6月上旬

○実施種目

- ・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

○実施結果の配付(個人票) 1学期

【R7新体力テスト結果】

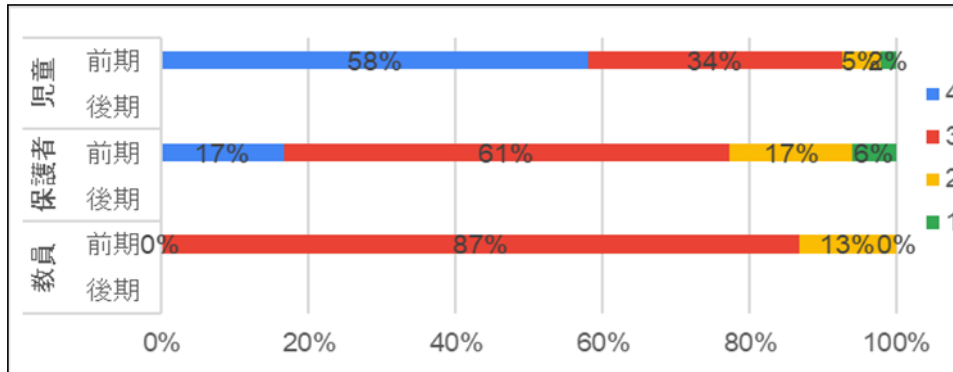
学年	現小2年	現小3年	現小4年	現小5年	現小6年
県平均を100とした時の指数	体力得点 男 114.1	108.5	112.5	105.9	95
	体力得点 女 110.7	114	102.8	115.2	97.2

※昨年度の体力テストの結果は、おおむね良好である。現小6男女以外は県平均を上回っている。今年度も体力の向上を図る取組を継続していく。

〔(7)に関するデータ〕

■ □ 「子どもたちに望ましい生活習慣・食習慣が身に付いている。」

◎ 「あなたは、早寝・早起き・朝ご飯など、規則正しい生活をしていますか。」



肯定的回答

児童	92 %
保護者	78 %
教員	87 %

① 栄養教諭による食に関する啓発活動(給食だより・昼の放送)

給食指導のめあての設定と掲示(食育掲示板)

② 養護教諭による歯磨き教室の実施、長期休業中のカード

配付等、保護者と連携しながら指導を進めている。

③ 保健委員会による「健康花丸チェック」、メディアコントロールの呼び掛け、望ましい生活習慣を形成へ *市全体でメディアに関する実態調査の実施



なつやす は 夏休み歯みがきカレンダー 1～4年生用

カラーテスターを使って、みがき残しが多いところを確認して、3日間がんばってみがきましょう。やり方は裏面を見てください。(カラーテスターも裏面にあります。) むすかしい場合は、お家の人に協力してもらいましょう。

みがき残しをチェックした日: 月 日

かがみを見ながら、確認します。

赤くそまっとなつて、赤色でぬりましょう。

(点線は裏面です。)

赤いところが、みがき残しです。

☆今回の結果は・・・

あてはまるものに○をつけよう

きれい もうすこし まだまだ

歯みがきをがんばる日(3日間)

3日連続でなくてもOK!

ふりかえりは◎、△、△でしましょう。かがみを見ながら確認しながらみがくと、きれいにみがけますよ!

日	白にち(ようひ)	ふりかえり
1	()	()
2	()	()
3	()	()

9月 給食だより 大館市田代学校給食センター

「もしもの時」に備えましょう

9月1日 防災の日

災害時の食の備え

★非常食・日常食品・持ち歩き用品の3つを備えておきましょう。水と電源は必需品です。

そのまま食べられる 非常食

ローリングストックで備える 日常食品

外出時の 持ち歩き用品

1日3リットル (1人1日) リットル

災害発生直後の食事

家庭で備蓄リストの作成を!

ア 児童の状況

Ⅳ 基礎学力

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね 良好	全国学力学習状況調査の結果は4月現在の6年生の状況である。さまざまな特性をもった児童が多い学年であることが理解できる。この結果から、個に応じた回復指導はもちろんのこと、研究主任の分析のもと、誤答が多かった問題は他学年にも関わる内容でもあるので、県学習状況調査や標準学力調査に向けて指導を行う必要がある。また、休み時間の声量が授業の中でも聞かれるようになってほしい。声の張りがあるとよい。
	年度		

学校評価の概要と学校の改善策	【前期(一年度)】 (8)について 月別の重点目標をもとに全学級で取り組むことで、学習規律が身に付いてきている。また、家庭の協力を得ながら家庭学習の習慣化を図るとともに、自学花丸デーでは管理職等も各学年の自学ノートに目を通し、取り組み方の良いところを一言メッセージにして書いている。自学ノート展では、より効果の上がる自主学習の仕方を提示し、児童のやる気を高めている。習慣化は図られているものの、子どもたちの目的意識の向上や学習内容については課題があり、一人一人に応じた根強い指導が必要である。
	(9)について 朝学習や意図的な繰り返し指導等で、基礎的・基本的な学力の向上を図っている。4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を分析し、6年生だけでなく、全学年で日々の授業改善につなげていく。
	(10)について 共感的・協働的に学び合う学習を目指して、「やませっ子学びのスタイル」を推進している。今年度から学団ごとに学びのオリエンテーションを開くことで、具体的にどんな授業を目指しているのか教師と子どもで共通理解を図っている。そうすることで、子どもたちの実態や学年の発達段階の差はあるが、「山瀬小として目指すべき子どもの学ぶ姿」が明確になり、全職員が共通実践していくことで、より主体的・対話的で深い学びとなる授業に近づくことができると考える。

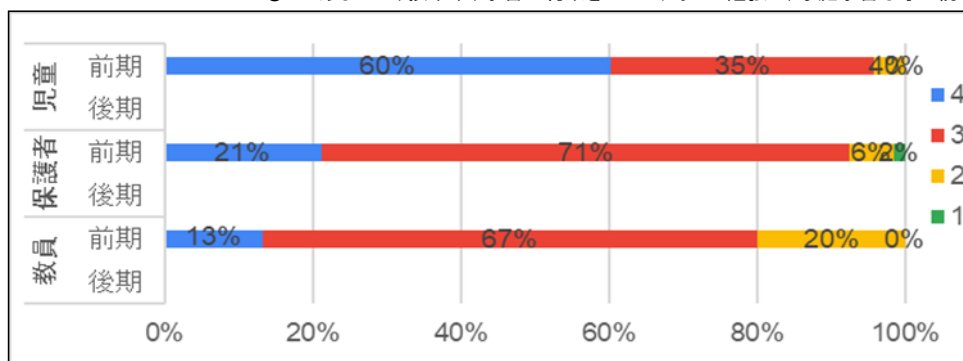
	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
5 確かな学力の育成	(8) 基本的学習習慣の徹底	・学習態度や話型の指導・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化	4	
	(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的計画的な繰り返し指導 ・個に応じた指導の工夫 ・聞き方、話し方の強調月間の設定	3	
	(10) 共感的・協働的に学び合う学習指導の充実	・やませっ子学びのスタイル (つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのこタイム)の設定と充実	4	

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【(8)に関するデータ】

■ □ 「子どもたちに基本的な学習習慣が身に付いている。」

◎ 「あなたは、授業中、学習の約束をしっかりと守って勉強し、家庭学習も毎日続けましたか。」



①学習指導部・研究部による計画的な取組

○「学習の約束」の徹底

・月別重点目標による学習訓練の徹底(4月:基本的な学習態度を身に付けよう 5月:よい聞き方を身に付けよう 等)

○家庭学習の習慣化

・家庭との連携を図る「家庭学習の手引き」の配付
・自学紹介コーナーの設置とノート展の実施
・自学花丸デー、自学を見合う会(学団)の設定

○学習環境の整備

・「やませっ子学びのスタイル」

・「話し方・聞き方名人」

・「声のものさし」

※学習リーダーが話し合いの進行役を務める。



〔(9)に関するデータ〕

令和8年度全国学力学習状況調査の結果(平均正答率 %)

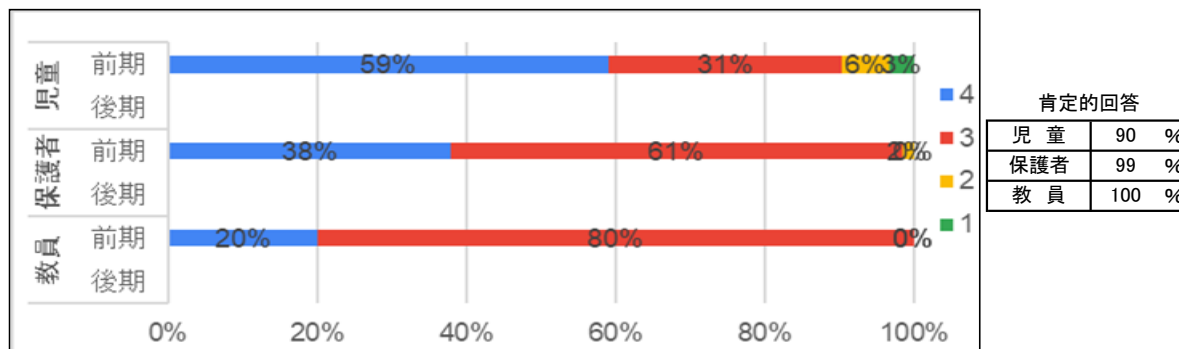
	国 語	算 数	結 果
山瀬小	59	47	2教科ともに全国平均を下回っている。 (算数)全国をマイナス9ポイント (国語)全国をマイナス2ポイント 全国学力学習状況調査は今年度4月に行われ、内容は5年生までのものとなる。6年の学習を進めながら、個に応じた回復指導と、全体的に誤答が多かったところの指導を行っていく。
秋田県	65	58	
全 国	60.9	56.4	
県平均を100とみたとき	90.7	81	

★意図的計画的な繰り返し指導の実施状況

- ぐんぐん学習の推進、朝学習の活用
 - ・ドリル学習 ・百マス計算 ・新聞ワークシート
 - ・ミニテスト等
- 各種テスト、ノートチェック、学習アンケートの実施
- 個に応じた指導の工夫(算数TT)
- 話し方、聞き方の強調月間の設定(5・6月)

〔(10)に関するデータ〕

- □ 学校は、子どもたちが共感的・協働的に学び合う学習指導が充実している。」
 ◎ 「あなたは友達の発表を聞きながら、自分の考えを進んで発表することができましたか。」



★「共感的・協働的に学び合う学習指導の充実」を目指した取組

- つながる場(たけのこ子タイム:授業での話し合い・学び合いの場の設定)
- 学団ごとの学びのオリエンテーションの実施(5月) 2学期も実施予定



※2年生 算数科

問題づくりに挑戦！ペアをつくって友だちに出題している場面。学習した内容を活用しながら、問題に取り組むことを通して理解が深まった。



イ 学校運営 の状況	学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
		良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
		おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
		やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
		努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 安全・安心				
学校の状況		学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	前期	良好	良好	安全確保の取り組みについて、児童・保護者・教員の肯定的回答が非常に高い。テトルでの「熊の出没」や「大雨警報」等の注意喚起を行い、保護者の協力を得ていることもよい。大館警察署交通課や田代警察官駐在所と連携しながら、児童の安全・安心に努めてほしい。
	年度			
学校評価の概要と学校の改善策	【前期(一年度)】 (11)について 大館警察署交通課や田代警察官駐在所の協力を得て4月に交通安全教室を行い、令和8年4月1日から自転車にも「交通反則通告制度」が適用されたことを基に、道路の横断の仕方や自転車の安全な乗り方について具体的に学ぶことができた。自転車の利用について、ヘルメット着用やルールの遵守は、家庭とも連携して指導していきたい。集団登校については、班長を先頭に安全に登校することができている。登校の仕方で心配な声が届いたときは、巡視・見届け等で安全に登校に努めている。			
	(12)について PTA生活環境部の協力により、4月末に危険箇所へ注意喚起の看板を設置し、事故防止を呼び掛けている。スクールガードリーダーも集団下校時に見守っていただいた。(2学期も依頼済)今後も関係機関と連携しながら事故防止に努めていく。また、市の公式LINEから熊の目撃情報を得ながら、田代警察官駐在所と連携をとり、tetoruで保護者への情報発信を継続したい。			
	【年度(一次年度)】			

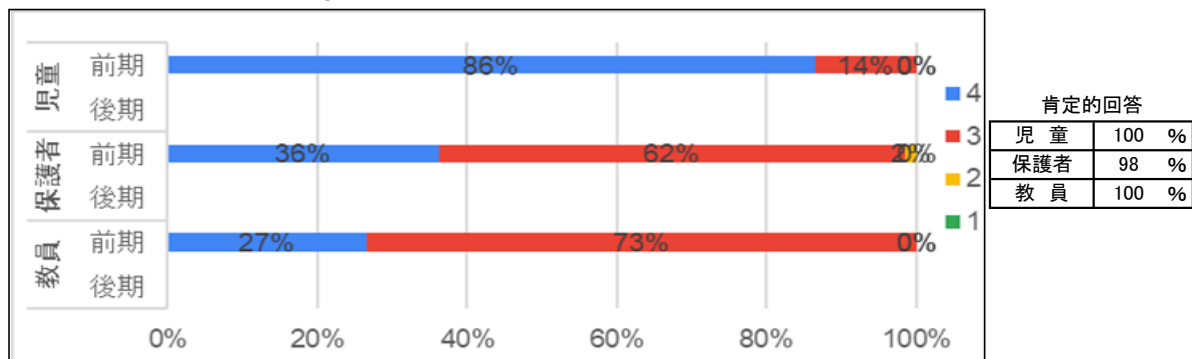
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団登校下校指導、避難訓練(地震)、交通安全教室等の実施 ・「すこやか通信」の発行・地区児童会	4	
	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等関係機関との連携 ・危険箇所看板設置・街頭指導・メール配信	4	

〔各種データ〕 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

〔(11)に関するデータ〕

■ □ 「子どもたちに安全への意識が育っている。」

◎ 「あなたは学校の行き帰り、ルールを守って安全に歩くことができましたか。」



【取組の具体例】★安全意識の高揚

○通学路の歩き方と危険箇所の確認

- ・集団登校、下校指導で通学路、歩き方の確認
- ・安全意識を高める集会での指導(定例会・夏休み前集会)

○交通安全教室

○避難訓練

- ・地震想定避難訓練 5月28日～地震発生時の避難の仕方

○生徒指導部だより「すこやか通信」の発行

- ・集団登校の確認、自転車の乗り方

・GWの過ごし方

・夏休みの暮らし方

・「次代を担う田代の子 自立プラン」への継続的な取組

○地区児童会

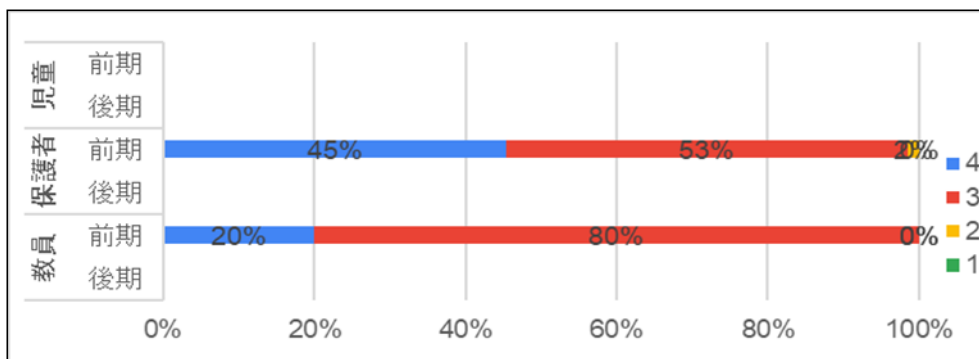
- ・危険箇所の確認等



※交通安全教室
大館警察署交通課や田代警察官駐在所の協力を得た。

[(12)に関するデータ]

■ □ 「家庭や地域の人々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」



肯定的回答

保護者	98	%
教員	100	%

★PTAやスクールガードリーダー等の連携

- ・PTA生活環境部との定期的な街頭指導の実施、
スクールガードリーダーからの安全指導
- ・職員による集団登校現場指導
- ・市教育相談センターとの情報交換会
- ・PTA生活環境部による危険箇所の確認と看板設置

- ・子ども110番の家の確認
- ・市教育委員会へ通学路に関する要望の提出

※PTA生活環境部による危険箇所への看板設置



イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携

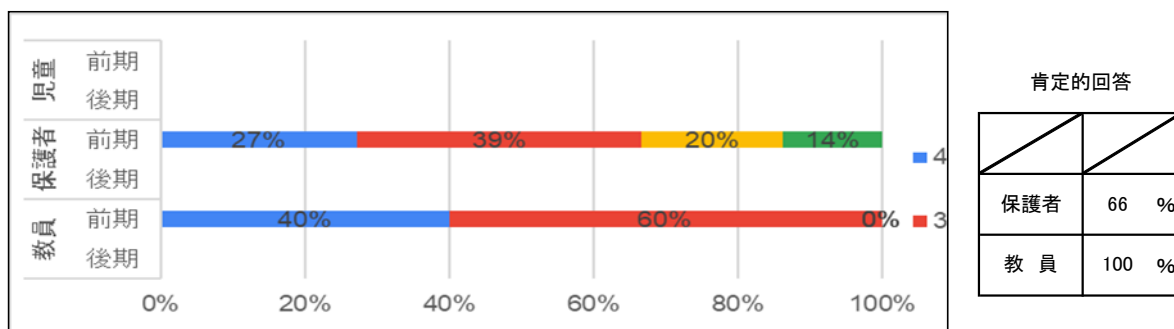
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	学校ブログやHPについては、学校サポーターや市教委のICT支援員の力を借りて更新していけば、2学期以降は数値が上がってくると思われる。また、地域の「ひと・こと・もの」を活用した体験活動については、児童・保護者・教員ともに肯定的回答の割合が非常に高い。2学期はたけのこプロジェクトを通じた地域への発信に期待している。
年度			

学校評価の概要と学校の改善策	【前期(一年度)】 〈13について〉 学年だよりを隔週発行とし、学校から月の主な行事と下校予定時刻の一覧表を配付している。学年だよりの発行は、よりタイムリーな連絡や持ち物等の情報提供について保護者から要望があったため、できることから改善していく予定である。学校行事や活動の様子、子どもたちの活躍を分かりやすく掲載している。HPは随時更新しているが、学校ブログの更新までなかなか手が回らないのが現状であった。行事の実施可否や緊急時には、tetoruでの配信を行ってきた。今後もできるだけ早めの情報提供を心がけていく。 〈14について〉 保護者や地域の方々の協力を得ながら、たけのこプロジェクトの様々な体験活動を進めることができた。また、クラブ活動では伝統芸能である代野番楽等、地域のプロフェッショナルな講師から学べる機会を設定しており、子どもたちも楽しみにしている。今年度もより一層ふるさとへの愛着心を醸成できるよう、地域の協力を得ながらふるさとキャリア教育を推進していきたい。2学期は茨城県常陸大宮市(大館市と友好都市)の西ノ内和紙の工房とのオンライン交流を企画している。 【年度(一次年度)】
----------------	--

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各たよりの発行、HP・ブログの更新 ・行事等におけるメール配信	3	
	(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施	4	

〔13に関するデータ〕※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

〔(13)に関するデータ〕 ■ □ 「学校は、分かりやすく学校の様子を情報発信している。」



【取組の具体例】

①学校からの情報発信、情報交換等(tetoru)

○学校だより「やませっ子」の発行と配付、HPにも掲載

- ・毎月発行(学校行事や活動の様子、次の月の行事予定等)
- ・行政協力員との連携による学区内配付

○学年だよりの配付

- ・隔週発行(学年の様子や行事予定、連絡等)

○月の主な行事と下校予定時刻表の配付

○保健だより・給食だよりの配付

○行事や緊急連絡等のメール配信

○学校教育アンケートの実施(web回答開始)

○PTA活動、スポーツ少年団打合せ等による情報共有

○教育相談等による情報交換

- ・年3回の教育相談週間
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる教育相談
- ・学級担任による個人面談
- ・各関係機関との連携(北教育事務所、市教委、少年教育相談センター、児童相談所、子ども課、児童クラブ、小・中・保)

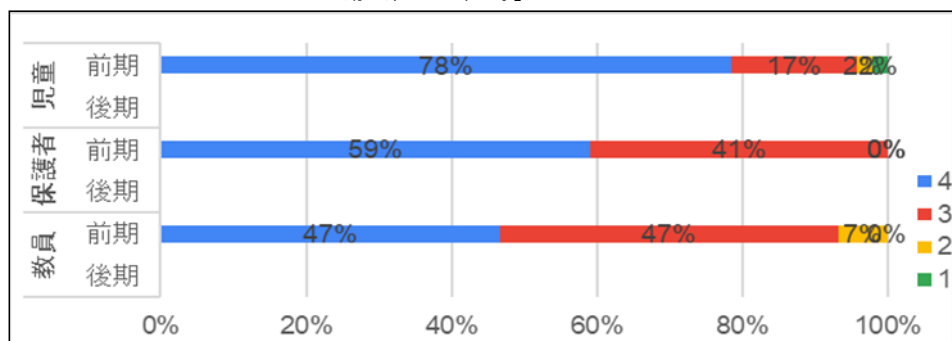
✉ 学校が配信した連絡
2026年08月28日(金) 15:00
1年生学年通信の配信です
✉ 12 / 12名
2026年08月27日(木) 18:51
大雨に伴う登校時の安全について
✉ 84 / 90名



〔(14)に関するデータ〕

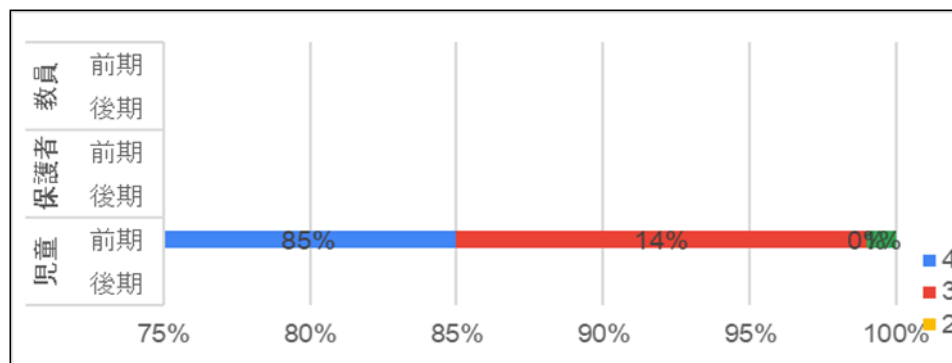
■ □ 「地域の『ひと・こと・もの』を活用した豊かな教育活動が行われている。」

◎ 「あなたは、地域の人やおうちの人などが勉強を教えてくれたり、手伝ってくれたりする授業や体験活動が楽しいですか。」



肯定的回答

児童	95	%
保護者	100	%
教員	94	%



肯定的回答

児童	99	%
保護者		
教員		

★「ひと・こと・もの」を生かした体験活動の充実

○ふるさとキャリア教育の推進

・クラブ活動における地元講師の活用(5つのクラブ)

・学校運営協議会での情報交換、地域コーディネーターとの連携

・「たけのこプロジェクト」を核とした体験活動への支援

農園栽培活動(耕起とマルチ張り、1・2年さつまいも、3・4年ポップコーン、5年田植え、5・6年なめこ)、たけのこ和紙作り用にたけのこの皮集め、皮の選別作業、1・2年藤の郷見学、ふるさとを歩こうデー、プルタブ・アルミ缶回収等

・大館市教委 ステップアップ事業 22.5万円採択

・地元の方からの地域学習への協力
越山小学校、五色湖の説明

※エコフェアでは、山瀬小の和紙をアピール



※音楽クラブでは笛や踊りの伝統の技を、あこがれの先生方から直に学ぶ